

お茶の京都

日本遺産

宇治田原町 いいとこ ガイド

マップ付き

宇治田原町を巡る

厳選 4 コース



- 体験
- グルメ
- おみやげ
- 歳時記&イベント

四季を感じ、 歴史を感じ、 心を感じる— それは、 最高のおもてなし。

人をもてなす一杯のお茶のように、くつろぎ安らぐ、そんな時間が宇治田原町には流れています。茶畠が広がる風景、谷奥に佇む歴史遺産、人との心温まるふれあい。宇治田原町での体験や出会いは、きっとあなたを笑顔にします。

もくじ

- 04 宇治田原町 全域マップ
- 06 お茶にまつわる今昔
- 08 コース1 歴史に触れる お茶巡り
- 10 コース2 癒しのスポットでリフレッシュ!
- 12 コース3 知的好奇心をくすぐる歴史ハイキング
- 14 コース4 家康が歩いた道!? 里山ハイキング
- 16 自然の中で極上体験
- 18 味わいいろいろ! グルメ店
- 20 厳選おみやげセレクション
- 22 歳時記&イベントカレンダー

※掲載データは2017年2月のものです

※料金は特別な記載がない限り税込価格です

※コースの所要時間は徒歩は3.2km/時、車は40km/時、バスは運行会社の時刻表をもとに算出しています

知ればもっと町巡りが楽しくなる! お茶にまつわる今昔

宇治茶の主要産地である宇治田原町。「日本緑茶のふるさと」と呼ばれる町の歴史と今をご紹介しましょう。

はじまりは大福谷

宇治田原町でお茶の栽培がはじまったのは鎌倉時代。世界文化遺産・高山寺を再興した名僧・明惠上人の弟子によって栽培方法がもたらされたと伝わります。最初に茶の種を植えたのは、靈峰・鷲峰山のふもとの谷あい・大福谷の奥地。栽培に適した環境で育まれた大福谷のお茶は好評を博し、幕府や宮中にも献じられたといわれます。



日本緑茶の誕生

現在、全国で日常的に飲まれている緑茶ですが、じつは、宇治田原町の湯屋谷がその発祥地といわれます。江戸時代中頃、湯屋谷で茶業を営む永谷宗円という人物が、15年もの歳月をかけて製法を研究し、色・味・香りに優れたお茶を開発。庶民の飲むお茶が茶色い粗末なものから緑色のおいしいお茶に変わった歴史的転換点です。宗円は江戸に上り、茶商・山本嘉兵衛（のちの山本山）を通じて販売。宗円のお茶は「天下一」という名でたちまち大流行したそうです。この製法は「青製煎茶製法」と呼ばれ、今日の日本緑茶の製法の礎となりました。



日本遺産に認定

煎茶の流行以降、湯屋谷の茶産業は大きく発展。細い谷あいにある集落でありながら、茶問屋や茶農家の建物が並び建つ様子を見れば、当時の隆盛が伝わってきます。湯屋谷の奥地にある宗円の出生地では、宗円の生家を復元（P9）。宗円が実際に使用していたといわれる焙炉跡も見ることができます。この生家をはじめ、茶畠や茶問屋、茶農家が混在する湯屋谷の町並みは、「日本遺産（詳細は下記参照）」にも認定されました。



町に息づく茶産業

現在も100軒以上の茶農家が良質な茶づくりに力を注ぐお茶の町・宇治田原町。新茶の季節を中心に、茶摘みや茶香舗、製茶体験など、お茶のイベントが開催されます。また、お茶を使ったスイーツや料理など、お茶にまつわる様々な魅力を生み出して発信。お茶の町としての誇りを胸に、歴史と文化を継承しています。



What's 日本遺産

Japan Heritage

地域の歴史的魅力や特色を通じ、日本の文化・伝統を語るストーリーを日本遺産（Japan Heritage）として文化庁が認定し、国内外へその魅力を発信して地域活性化を目指していくものです。宇治田原町の湯屋谷がストーリーに組み込まれた「日本茶800年の歴史散歩」（京都府）は、平成27年4月に第1号として認定されました。



マンホール
のふた

モデルコース1



宇治田原の定番スポットを巡るコース。日本緑茶発祥の地・湯屋谷のどのかな風景を楽しみつつ、お茶文化と歴史を満喫しましょう。

歴史に触れる お茶廻り



1 総合文化センター お茶の資料室

町の複合文化施設の3階にある資料室では、お茶文化や歴史、日本緑茶の祖・永谷宗円(P6)の功績が学べます。2階のロビーでも町の歴史などに関する展示が行われることがあるので要チェック。

- 綾喜郡宇治田原町岩山沿戸46-1
- ☎ 0774-88-5851
- 資料室10:00~17:00
- 火休(祝日除く)、12/28~1/4休
- 入館無料
- 駐車場90台



ユニークな動画や貴重な資料・パネルで学べます

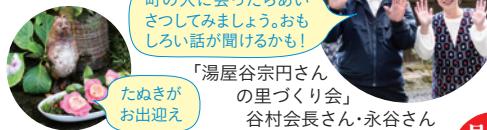
- 1 お茶の資料室
バス停 総中前
徒歩6分 0.3km
- 2 永谷宗円生家
バス停 総中前
バス5分 2.2km
- 3 茶宗明神社
バス停 工業団地口
徒歩26分 1.4km
- 4 高田通泉園
バス停 工業団地口
徒歩11分 0.6km



見る 2 永谷宗円生家

ながたにそえんせいか

永谷宗円の住居跡で、製茶道具や製茶用の焙炉(ほいろ)跡などを保存。5月には新茶まつり(P22)、年越しには新春手揉み茶奉納(P23)など多彩な催しでぎわいます。周囲を彩る、アジサイや紅葉も楽しみのひとつ。



- 綾喜郡宇治田原町湯屋谷空広
- ☎ 0774-88-6638(宇治田原町 産業観光課)
- 9:00~17:00(内部公開は土日祝のみ)
- 入場無料

見る 3 茶宗明神社 (大神宮社)

ちゃそうみょうじんしゃ (だいじんぐうしゃ)

湯屋谷の奥地に鎮座する大神宮社に、永谷宗円を茶祖として合祀。昔むす石垣や、境内を取り囲む森の霊園気が神秘的なムードを漂わせます。参道に紅葉が降り積もる秋のお参りもおすすめ。



- 綾喜郡宇治田原町湯屋谷空広
- ☎ 0774-88-6638(宇治田原町 産業観光課)
- 境内参拝自由

味わう 4 高田通泉園

たかだつうせんえん

大正13年創業の茶問屋が厳選した茶葉やお茶スイーツが揃います。こだわりのソフトクリームは、定番のほうじ茶や抹茶のほか、5~6月は新茶、9月頃は玉露ソフトといった限定味も登場(各310円)。

〈おみやげ情報P21〉



茶葉の粉末もたっぷり!



- 綾喜郡宇治田原町湯屋谷長通45
- ☎ 0774-88-3939
- 9:00~18:00(日祝10:00~)
- 年末年始休

レトロな茶工場

こぼれ話①

石垣の上に建つ木造の茶工場や茶問屋が並ぶ湯屋谷の町並みはレトロで絵になる風景です。中には3階建ての大きな茶工場も。



思い出に 郵便局の風景印

こぼれ話②

地域の名所などを図案化した郵便局の「風景印」は旅の記念におすすめ。宇治田原郵便局の風景印は茶畠や生家などが描かれています。

※風景印はハガキなどを投函する際に窓口で申し出れば押してもらえます
※郷ノ口郵便局にも図案の異なる風景印があります



モデルコース2



宇治田原町の豊かな自然の中で、長い歴史を重ねた寺や神社を巡りましょう。ここでしか出会えない光景や文化財に心癒されるひと時を。

癒しのスポットでリフレッシュ!



1 猿丸神社 見る

ご祭神は百人一首にも選ばれた、平安時代の歌人と伝わる猿丸大夫。こぶや腫物を取って癒す神社としても信仰され、こぶ付きの木がお礼参りで奉納されています。毎月13日はご縁日で月次祭を斎行。とくに6月と12月は火焚神事（P23）、4月と9月には大祭が行われます。



猿のおみくじ（300円）

猿の顔を自由に描いてみよう!
かわいい表情にほっこり

猿の絵馬（400円）



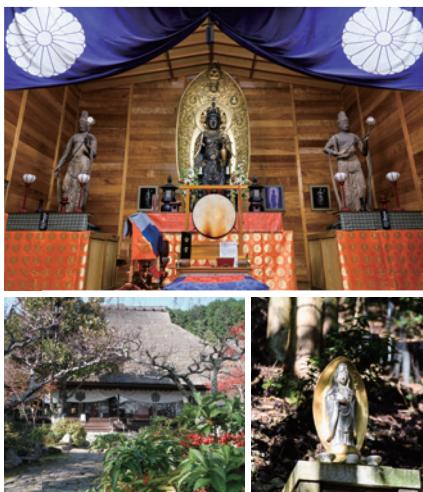
● 總合情報
○ 總合案内
○ 0774-88-3782
○ 7:00～16:00
○ 境内参拝自由
※毎月13日は維中前バス停から臨時バスが発着

- 岩山交差点
- 車で4分 2.7km
- ① 猿丸神社
- 車で1分 0.8km
- ② 禅定寺
- 車で3分 2.1km
- ③ お茶の郷 木谷山
- 車で9分 5.9km
- ④ 正寿院

見る

2 禅定寺

ぜんじょうじ



味わう

3 お茶の郷 木谷山

おちゃのさと きたにやま

製茶場併設のショップ&カフェで「いらっしゃい」の看板が目印。店内では6代目こだわりの抹茶スイーツがリーズナブルに味わえます。人気の『抹茶ぱふえ』（550円）は手づくりの抹茶ゼリーやカステラ、白玉などがたっぷり。

〈おみやげ情報P21〉

● 總合情報
○ 0774-88-2218
○ 10:00～17:00
○ 水休 ※禁煙

美女石・乙女観音は境内から山道を15分ほど歩きます。見学時は事前に寺の方へひと声かけましょう。

● 總合情報
○ 0774-88-4450

○ 9:00～16:00

○ 抱観料500円



店長 木谷さん

見る 体験

4 正寿院

しょうじゅいん



『水引猪目(ハート)お守り』(700円)▶

● 總合情報
○ 0774-88-3601
○ 8:30～16:30 (冬季は16:00受付終了)
○ 抱観料400円(お茶・お菓子・散歩・叶紐付き)



『猪目窓のご朱印』(300円)は季節ごとに色やあしらいが変化。名入れも可能。

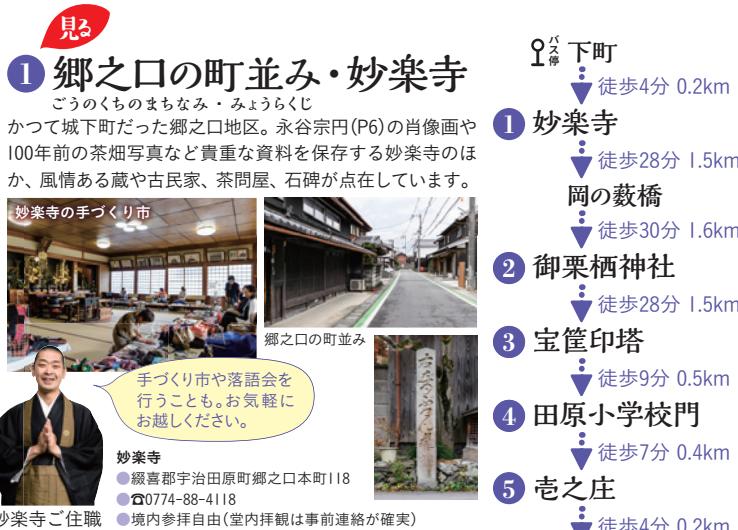
モデルコース3



神社や古民家の残る町並みに歴史を感じつつ、茶畠も間近に見学できるコースです。歩きやすい平坦な道のりですが、行きかう車には注意。

知的好奇心をくすぐる

歴史ハイキング



モデルコース4



信長の死後、堺にいた徳川家康が三河に戻るために命からがら辿ったという「伊賀越え」の道(ルートは諸説あり)。のどかな里山風景を愛でながらハイキングしませんか。

家康が歩いた道!?

里山ハイキング



見 1 山口城址

やまぐちじょうあと

信長の命を受け山口氏が郷之口(PI3)に築いた山口城。家康も立ち寄ったと伝わる城で、その跡地には今、茶畑が広がります。近くの極楽寺は山口氏の菩提寺。山門が城の裏門にあたるといわれています。



家康伊賀越えの道 体験

いえやすいがごえのみち



国道307号の横断歩道を渡り、コンビニの看板手前の道を進みます。



いったん伊賀越えの道を離れ、山の斜面に広がる茶畑が眺められるルートへ。秋には道沿いの田畑に町の特産品・古杢柿(P20)づくりの柿屋(P23)が建てられます。

- ① バス停 郷之口
徒歩6分 0.3km
- ② 山口城址
徒歩15分 0.8km
- ③ 国道307号の横断歩道
徒歩56分 3km
- ⑤ 大道神社
徒歩45分 2.4km
- 湯屋谷会館
徒歩23分 1.2km
- ⑨ バス停 工業団地口

足ものばして 遍照院 見る

へんじょういん

1570年創建の高野山真言宗寺院。伊賀越えのルート上にあり、家康が休憩に立ち寄ったと伝わります。境内には紅梅の古木。寺の周囲では、日本のふるさとといえる原風景が広がります。



再び伊賀越えの道に戻ると茶工場が並んでおり、お茶の香りが漂うことも。



秋には真っ赤な紅葉で鳥居が彩られる「大道神社」。そばには平安時代に平治の乱を起こした信西が自害したと伝わる供養塔「信西入道塚」が。



道沿いに茶畠が続きます。



坂をくだっていくと湯屋谷(P9)の集落が眼下に見えています。

自然の中で極上体験

茶畠やお寺、里山の自然を
フィールドに、最高の非日常
体験をしてみませんか。

茶文化体験



茶香服 ちゃかぶき

南北朝時代の頃には「鬪茶」とも呼ばれていた茶香服。お茶を飲み比べ、その産地や銘柄を当てていく遊びです。かつては貴族や文化人の間で流行。現在も茶業が盛んな町を中心に行われています。なお、上記の「茶摘み体験」に参加すれば「茶香服」も体験可能。

21お茶のふるさと塾

☎0774-88-4246(事務局 木創)

茶摘み体験 大人2500円、小人1250円

茶摘み娘の衣装貸し出し 大人1000円、小人500円
要予約(日程は要相談)

茶摘み体験 ちゃつみたいけん

町の茶畠で5月初旬～6月中旬に実施される「茶摘み体験」。伝統的な製茶体験や抹茶の石臼挽きなど、様々な体験でお茶に親しむことができます。茶摘み娘の衣装レンタルも可能。毎年5月上旬の日曜に開催される「茶摘み体験交流会」(参加は要予約)でも同様の体験が楽しめます。



7種のお茶が飲み比べられる『茶歌舞伎セット』(1000円)
商品のお問い合わせは事務局まで



築100年以上の製茶工場をリノベーションした一棟貸しの農業体験型宿泊施設。茶工場の名残を残しながら改装し、和紙や照明など著名な職人・デザイナーが手がけています。町のお父さんやお母さんたちが教えてくれる農作業は、稻刈り、田植え、薪拾いなど時期によって変化。

MARU+JYU

マルジュウ

☎090-3652-2086(ソーシャルイノベーション宇治田原 山本)

1棟1泊素泊まり2万5000円～(最大8名まで)

*棟内に台所・バス・トイレ付き

農家民宿



夜は照明が
ロマンチックに
屋内を演出



ヨガ 未経験者も気軽に参加できるヨガ。
副住職の法話やグリーンスマジー
も楽しめます。



正寿院 副住職

【開催場所】

正寿院 しょうじゅいん

<寺院情報P11>

『ヨガ』(1000円・グリーンスマジー付き)

2017年4~11月の第2日曜11:00~開催(8月除く)

『オリジナル腕輪数珠づくり』(2000円・お茶とお菓子付き)

子ども用(500円)はビーズを用意

『写経』『写仏』(各1000円・お茶とお菓子付き)

※いずれも要予約(ヨガは5日前まで)



写経・写仏 塗香(づこう)で身を清めてから般若心経や仏画を写します。



オリジナル腕輪数珠づくり

季節の香木や天然石など約30種から選んで制作。完成後、ご本尊の前で手を合わします。

アウトドア



末山・くつわ池自然公園

すえやまくつわいけしぜんこううん

綾瀬郡宇治田原町郷之口末山3

☎0774-88-3895

☎0774-88-2974(釣堀のお問い合わせ)

1/26~11月第2日曜 8:30~17:00

11月第2月曜~1/25 8:30~16:00

11月第2木曜~2/25までの毎木曜、年末年始

入園料 大人400円、小人200円(バンガロー・釣り・駐車場など利用の際は別途料金要)



オートキャンプ場に併設する
バーベキュー棟。近くには新しいトレーラーハウスも!

味わい
いろいろ!

グルメ店

心落ち着くロケーション、地元食材を使った料理、町の人が通う店などをピックアップ。散策途中にお立ち寄りください。

ロケーションもすてきな食事どころ



豚ヘレの玉露パン粉焼。
地元野菜もたっぷり使用。



綴喜郡宇治田原町湯屋谷上西谷!
☎0774-88-2647
11:00～15:00(L.O.14:30)、17:00～21:00(L.O.20:30)
火休
予約がおすすめ(ディナーは1日1組限定要予約)
※ランチタイムは禁煙

宇治田原産の
茶葉を使った
メニューもご用
意しています



オーナーシェフ 三浦さん

リンデンバウム

ドイツの日本領事館などで活躍したシェフが故郷の古民家で営む隠れ家洋食店。スープ、パンorライス、デザート、ドリンクが付く『日替わりランチ』(1600円)はメインが4～5種から選べます。

早蕨山荘 赤政

さわらびさんそう あかまさ

創業100年を超える老舗。町の喧騒を離れ、旅館を思わせる座敷でゆったりと過ごせます。良質な猪肉を使った『ぼたん鍋』(冬季限定)や、小鉢に肝吸い、フルーツが付くランチ限定の『うな重』などがおすすめ。

綴喜郡宇治田原町之口向井24

☎0774-88-2380

12:00～L.O.14:00、17:00～21:00(L.O.20:30)

不定休

要予約 10名～送迎可

全室個室で2～80名までゆっ
くりご利用いただけます



五代目 福永さん

『うな重』(税サ別3500円)



みろく

田舎の家を訪ねたような懐かしさと安らぎに包まれる古民家を活用した蕎麦どころ。手打ち蕎麦のさまざまなメニューが揃う中、かやくごはんに季節の天ぷらと小鉢が付く『みろく御膳』(1500円)が人気です。

綴喜郡宇治田原町之口向井81

☎0774-88-2915

11:00～15:00

火休

夜は要予約

※禁煙



散策のお供に!
地元食材のお弁当



天ぷらには
お茶の町らしく
抹茶塩が添えられています

地元の人が 通う店



チエリー

子どもからお年寄りまで地元の人が憩う町の喫茶店。日替わりランチや手づくりハンバーグ、日曜限定『茶ッピーセット』、自家製のパンやケーキも好評です。

綴喜郡宇治田原町郷之口中林33

☎0774-99-8700

8:30～18:00

月休



『デリシャスラーメン』(800円)

新立麺館 しんりゅうめんかん

猪と豚、鶏ガラをベースとしたスープに上バラ肉の厚切りチャーシュー。迫力ある『デリシャスラーメン』は地元客のファンも多数。

綴喜郡宇治田原町立川67-1

☎0774-88-4005

11:00～14:00、17:00～21:00

(売切次第終了)

火曜の夜休

たなか家 宇治田原店

たなかや うじたわらてん

コシのあるもちもち麺が人気のうどん店。豊富なうどんメニューをはじめ、宇治田原産のお米を使った丼や、揚げたての天ぷらもおすすめです。

綴喜郡宇治田原町岩山休場8

☎070-1391-6972

11:00～15:00 (L.O.14:40)

日休、祝日不定休 ※禁煙



創業百余年の老舗
がつくる、お茶や地
野菜などを使った

『宇治田原ふるさと
弁当』(1080円～)、お

みやげにも喜ばれる
『茶薫鮪寿司(ちやか
をるさばずし)』(2700
円)もぜひ。

※弁当の内
容は季節や
価格によ
り異なります



魚定本店

うおさだほんてん

綴喜郡宇治田原町南溝戸16

☎0774-88-2030

9:30～19:00

月休

要予約(3日前までに)

19

おみやげセレクション

厳選

お茶にまつわる品

① 茶葉



宇治田原煎茶 宇治田原玉露
(100g 648円) (100g 1080円)
宇治田原産の茶葉100%使用。
数量限定。

柿

町で収穫した小ぶりの渋柿
「鶴の子柿」を使った名産品。

⑫ 古老柿

(200g 440円～)
自然の甘みが人
気。禅定寺(P11)
に古老柿の発祥伝
説が残り、毎年12
月前後から出荷。

⑬ 柿酢

(150ml 650
円～) まろや
かな無添加
の果実酢。



⑮ しいたけ

原木栽培の
肉厚いたけは
町の特産品。



野菜ほか

⑭ 新鮮野菜

豊かな水と土で
育った野菜も好評。



⑯ 梅干・漬物

梅干(230円～)
空海ゆかりの高尾
地区の梅を使用。



① ③ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯

JA農産物直売所宇治茶の郷

町で収穫された旬の農産物や
特産品が揃うJAの直売所。館
内には喫茶スペースもあります。



綾喜郡宇治田原町郷之口町12
☎0774-88-2629
9:30～16:30 年末年始休

*掲載商品は時期によって在庫切れの場合があります。

20



② 陶器

湯のみ
(800円)

湯屋谷の陶芸工房製の器は草花の
繊細な絵柄が特長。



③ 宗圓香

(540円～、写真は1080円)
お茶の香りがするお香は町商工会女性部のオリ
ジナル商品。ほうじ茶、京番茶など3種。

お茶スイーツ

④ 抹茶ロール



地元産の抹茶を
使った濃厚なふ
わふわ生地と生
クリームが絶妙。

⑤ 抹茶大福



抹茶餡と生クリー
ムを包んだ大福
は11～5月中旬頃
の限定販売。

⑦ ほうじ茶プリン



土曜入荷のため
週の後半は売切
れのこともある
幻のプリン。

⑥ 生どら



ボリューミーな
クリームどら焼
きはほうじ茶と
抹茶の2種(冷
凍販売)。

⑨ 茶だんご



着色料不使用。
店内のカフェで
もいただけます。

⑧ 茶ヤ一美一あられ



緑茶をふりかけた
薄味醤油のあられは
お茶うけにぴったり。

⑪ 茶ッピーサブレ



(5枚入り388円)
町のマスコット
「茶ッピー」の
焼印入り抹茶
クリームサンド。



その他の店舗情報

⑥ ⑦ 高田通園園

P9

お茶の郷 木谷山 P11

⑩ ⑪ 壱之庄

P13

お茶やスイーツ、特産品など。

宇治田原町のおみやげを

旅の思い出にどうぞ。

※2017年2月現在の価格(税込)です

歳時記&イベントカレンダー

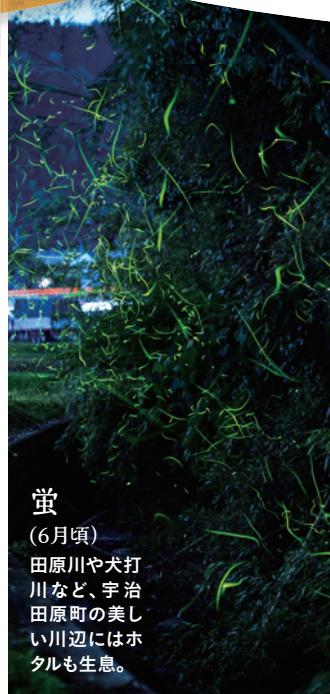
四季折々の美しい風景や里山に伝わる伝統行事・イベントをご紹介します。



やすらぎの道（4月上旬～中旬頃）
約200本の桜が開花する田原川沿いの
「やすらぎの道」は町内随一の桜名所。



新茶（5月上旬頃）
宇治田原町の茶畑が若々しい緑に染まる頃。
町内では新茶イベントも開催。

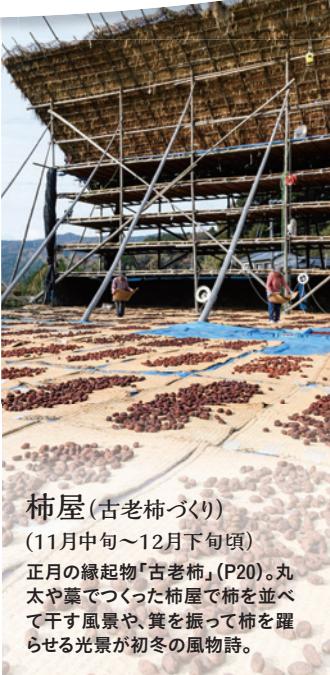


螢
(6月頃)

田原川や犬打
川など、宇治
田原町の美し
い川辺にはホ
タルも生息。



紅葉
(11月中旬～
12月上旬頃)
山々に囲まれた町の
神社仏閣には、紅葉
の隠れ名所も多数
(写真：大道神社)。



柿屋(古老柿づくり)
(11月中旬～12月下旬頃)
正月の縁起物「古老柿」(P20)。丸
太や藁でつくった柿屋で柿を並べ
て干す風景や、箕を振って柿を躍
らせる光景が初冬の風物詩。

春の行事

茶宗明神社春季大祭
(4月中旬) 茶宗明神社

手もみ実演・機械もみ研修
(4月下旬～5月上旬)
JA製茶技術研修工場(見学のみ)

茶摘み体験交流会
(5月上旬の日曜)
21お茶のふるさと塾茶園ほか



永谷宗円生家新茶まつり
(5月上・中旬の日曜)
永谷宗円生家

夏の行事

風鈴まつり
(7月1日～9月18日) 正寿院

夏越の大祓式
(7月31日) 大宮神社

ねりこみ囃子
(8月15日) 天神社

灯籠張りと
やんたん灯りまつり
(8月中・下旬の日曜)
湯屋谷地区・長福寺



秋の行事

大籠祭
(9月1日) 湯屋谷 大滝

田原祭
(10月体育の日前の木～日曜)
御栗栖神社・大宮神社・
三宮神社・御旅所



宇治田原ふるさとまつり
(10月中旬の日曜)
総合文化センター

冬の行事

火焚神事
(12月13日)※6月13日も実施 猿丸神社



新春手揉み茶奉納
(12月31日～1月1日)
永谷宗円生家・茶宗明神社



神縄座
(1～2月) 荒木・岩山・禅定寺・立川地区

節分会
(2月3日)※年によって4日になる場合もあり 禅定寺

宇治田原町への交通アクセス



鉄道・バス



**宇治・新田辺駅より京都京阪バス「工業団地行き」「緑苑坂行き」「維中前行き」に乗車
(所要時間の目安…「維中前」バス停まで約30分)**

※バスの本数は限られますので事前の時刻表確認をおすすめします

※永谷宗円生家への最寄りバス停は「工業団地口」ですが、「工業団地」経由と「緑苑坂」経由で、「工業団地口」バス停の位置が異なります



自動車

名古屋方面よりお越しの方

- 名神高速道路「瀬田東」JCT▶京滋バイパス▶「南郷」ICから約20分

大阪方面よりお越しの方

- 名神高速道路「大山崎」JCT▶京滋バイパス▶「宇治西」ICから約25分
- 名神高速道路「大山崎」JCT▶京滋バイパス▶「笠取」ICから約20分

大阪(枚方)方面よりお越しの方

- 第二京阪道路「枚方学研IC」▶国道307号(京田辺方面)へ約35分
- 国道1号を北上▶池之宮北交差点で国道307号へ約45分

奈良方面よりお越しの方

- 国道24号を北上▶山城大橋東詰交差点を右折(甲賀方面)し、国道307号で約15分または京奈和自動車道「田辺西」ICから国道307号で約20分

宇治田原いいとこ案内人の会

お問い合わせ

住民有志が町内を無料でガイド。日時やコースは要相談。 0774-88-2690(中村)